

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成15～27年度 整備に伴う発掘調査総括報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第146集							
編著者名	田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0027 今治市南大門町二丁目5番地1 電話 0898-32-5200(代)							
発行年月日	2019年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまぼりし 愛媛県今治市 みやくぼちようみやくぼ 宮窪町 宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地 ^{ばんち}	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	2003年度) 2015年度	2088m ²	保存目的 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	岩礁ピット、海蝕台、 海岸埋立地、通路状 遺構、郭、掘立柱建 物跡、礎石建物跡、 鍛冶遺構等		土師質土器、瓦質土器、 土製品、国産陶磁器、 貿易陶磁器、石製品、 鉄製品、銅製品、鉄滓等			
要約	<p>平成15～27年度に実施した整備に伴う発掘調査の総括報告書である。調査の結果、能島の利用は14世紀中頃から後半には開始され、16世紀後半まで存続することがあきらかになった。また利用形態は、4期に区分され、能島城3期(15世紀末～16世紀前半頃)が遺構・遺物からみた城の盛期と考えられる。能島城4期(16世紀中葉～後半)には、貿易陶磁器や備前焼などの著しい減少が確認され、能島城の利用形態に変化が見られる。</p> <p>貯蔵、調理、煮炊具などの生活容器類が豊富に出土したことにより、出城的な役割、見張り場、船だまりに過ぎない、といった従来の評価に見直しが必要となった。一方、土塁、堀切などの防御施設は顕著ではなく、海に対して開放的なその構造から、戦時のみならず、日常の海上活動やそれに従事した人々の生活の場としての城の姿が明らかになった。</p>							